

## 4日目のスケジュール

7時45分 HTL出発

9時～10時半 Boeing社訪問

11時半～12時 NASA研究者による講話

12時10分～12時20分 Lunch

13時半～14時半

15時～15時半

16時～16時半

17時半～18時

20時半～21時

NASA Workshop

NASA Museum訪問

NASA職員による講話

太田高校OBによる講話

HTL着 &amp; Reflection

今日のオーランド市内の気温は26℃と日中の日差しも強く真夏のような天気となりました。ただし、日本の真夏と違って湿度が低く日本のような蒸し暑さは全く感じなく、心地よさを感じる暑さでした。今日からNASA研修がスタートいたします。

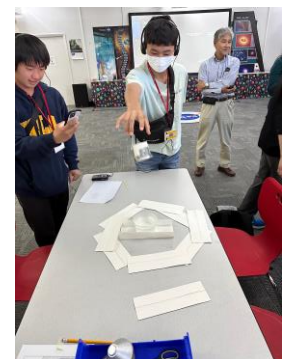
最初に訪問したのが大型旅客機メーカーで知られるBoeing社になります。Boeingの本社はシカゴになりますが、今回はフロリダ支社を訪問して3名のスタッフからスライドを使って主に宇宙産業への取り組みについて説明していただきました。Q&AセッションではなぜNASAと合同会社にならないのか、JAXAのH2ロケット打ち上げ失敗についての意見を求めるなど、他にも生徒たちは疑問に思ったことを積極的に質問していました。



Boeing社からNASAに行き、施設内にある講義室でNASA職員で植物学者のジョシア・D・マッサ教授から宇宙での植物栽培についての研究について講話していただきました。近い未来に人類が宇宙で生活するための準備が着々と進められていることを実感しました。生徒達は積極的にジョシアさんに英語で質問していました。



NASA Workshopでは生徒たちは限られた資材を使ってロケットの着陸カプセルを作りました。今回はカプセルが海上に着陸することを想定して2分間以上浸水することなく浮上できるカプセルの作成を制限時間内で1チーム3～4人で取り組みました。最後は各チームが知恵を振り絞って作成したカプセルを海上として準備した水が入った容器の真上から落として無事浮上できるか実験をしたところ、無事浮上したカプセルもあれば浸水したカプセルもありましたが、全員がチームとして取り組んだ成果物に対しては達成感を実感していました。



NASA Space Centerの敷地内には実物大のロケットがいくつも展示されています。それも1つではなく複数のロケットが展示されていて、その規模に生徒達は圧倒されていました。



NASA MuseumではNASAを定年退職されたスタッフにお会いしてNASAの歴史やこれまでの使用されてきたロケットについて説明してくださいました。また、過去に実際に使われちた宇宙服なども展示されていました。

夕食会場には2人のゲストスピーカーがきてくださいました。最初はNASA職員のJohnny Ngyenさんで両親はベトナム戦争からアメリカへ亡命されてきた経緯も含めてJohnnyさんがこれまで歩んできた人生のチャレンジについて説明してくださいました。Q&Aではこれまで発言しなかった生徒も含めて全員が自主的に英語で質問をしていました。



次に太田高校のOBで現在はアメリカ・テキサス大学で助教授を務めている田中氏から講話していただきました。田中氏は今日KSCに家族旅行で訪問しているところに、ぐうぜん母校の後輩達に遭遇し、夕食にお招きしたところ快く受けて下さいました。田中氏は東京大学からイリノイ大学院へ留学し現在はテキサス大学で学生の授業を受け持つ以外に研究室の運営も担っています。田中氏からはの生徒へのメッセージは「世界で勝負して！」。生徒たちは世界で活躍している先輩の言葉を真剣に受け止めていました。

